

多様性万歳！ 島で生きる

Welcome to the islands -Diversity and attractiveness-

特集担当主査：玉置 哲也

特集企画担当：伊藤 潤司、大野 健太郎、出水 享、田中 万琳、浅野 太我、宮田 比奈

日本は6852の島から構成される島国である。これは日本統計年鑑に国土構成島数として記載されたもので、

「周囲0・1km以下」の島は含まれていない。それらを考慮すれば無数の島があると言ってもいいだろう。広辞苑によれば「島」とは四面を水に囲まれた小陸地のことを指す。良くも悪くも「水」によって外界と隔てられることにより、その土地独自の生態系や文化、生活習慣が形成され、それが現代の日本へと引き継がれてきた。近年、社会で「diversity（多様性）」という言葉が浸透し、その価値が認められてきているように、厳しい環境下で培われたそれぞれの島特有のモノはその島の固有の資本であり、大なり小なり魅力や価値を有しているはずである。一方、土木は国民の生活を豊かにするため「土木を築き木を構える」学問・技術体系であり、人々の生活における障害の解消・緩和に取り組んできた。以上のような視点から見ると、土木がもたらす生活環境の向上は、同時にその土地固有の魅力を下下させてしまう可能性も持ち合わせているようにも感じる。このバランスを考え、生活環境の向上を図るだけでなく自然環境や文化など島固有

の魅力を未来へと継承することも、土木に求められる使命ではないか。

宮本常一たちによってつくられた離島振興法（1953）は、離島における生活環境の後進性の解消や島民生活の向上を目的としたものであった。現在、全ての不便さが解消されたわけではないが、土木は生活インフラの整備や交通網の発達を通して離島生活環境の向上に貢献してきた。2002年の改正によって後進性という用語が消えている点からも、インフラ整備などにより当初の目的がある程度達成されたことがうかがえる。本特集の座談会においても日本離島センターの三木剛志氏にご説明いただいているが、この改正では、離島は後進的な地域というよりむしろ、わが国にとっての重要な拠点であるという認識の変化が強く表れている。

島の重要性が再認識されている今、5GやAIといった新技術の発展は、島の生活環境の向上や本土との隔たりを緩和させる可能性を秘めている。ドローン物流の実用化に向けた取り組みなどは、その一例として挙げられるだろう。その一方で、COVID-19の影響は島嶼（とうしよ）観光にも多大な影響を及ぼしており、われわれの生活・レジャーの

様式を一変させた。また、われわれの抱える人口減少や地球温暖化といった社会問題も、島嶼エリアではより深刻な課題となつて表れている。これまで、民俗学、地理学、生態学をはじめ多くの学術分野において島研究は行われ、

その重要性や魅力が発信されている。そのため、この特集は土木の学会誌でありながら、さまざまな分野で活躍されている専門家や実務者にご執筆いただく形で構成した。多様な分野からの鋭い知見は、われわれ土木関係者に

とつても貴重な情報であり、よりよい社会を実現するための大きなヒントとなり得るだろう。目まぐるしく状況が変化する現代社会において、本特集が島の魅力とは何か、どのように島々の地域社会を持続させていくか、など改

めて「島」につ

いて考えるきっかけになれば幸いである。

この特集では、図1に示すとおり、計25島^(注1)について言及さ

れており、1の島について

は、その島に深い関わりのある専門家や実務者に執筆のご協力をいただいた。

その内容は地域遺産や歴史、インフラ技術、エネルギー開発、地域連携、地方創生、漁業資源、災害など多岐に

わたり、切り口はさまざまである。また、座談会では、具体的に多くの島を取り上げていただきながら(13)25の島)、島の魅力や課題について分かりやすく丁寧にご紹介いただいている。そして、本特集ではこれまでにない取り組みとして、土木学会誌学生編集委員

が実際に軍艦島(端島)へ探訪し取材した記事も掲載している。学生ならではの視点をぜひご一読いただきたい。特集の最後では、将来の離島交通手段として、水上飛行機の可能性について海外事例を含めご紹介いただいている。

ここでご紹介させていただいたような多種多様な取り組みや魅力は、多様性が故、その島でしかできないものもあるが、多様性が故、他の島でも応用できるヒントがあるだろう。島の持続可能性や活性化といった共通の目標に對して、それぞれの分野ならではの研究や取り組みが行われているが、その成果が共有されて分野横断的な取り組みへとつながり、より望ましい島の在り方が提案されていくことを期待している。

(注1) 桜島は、厳密には「島」ではないものの、「多様性」というテーマに即しご執筆いただいた。

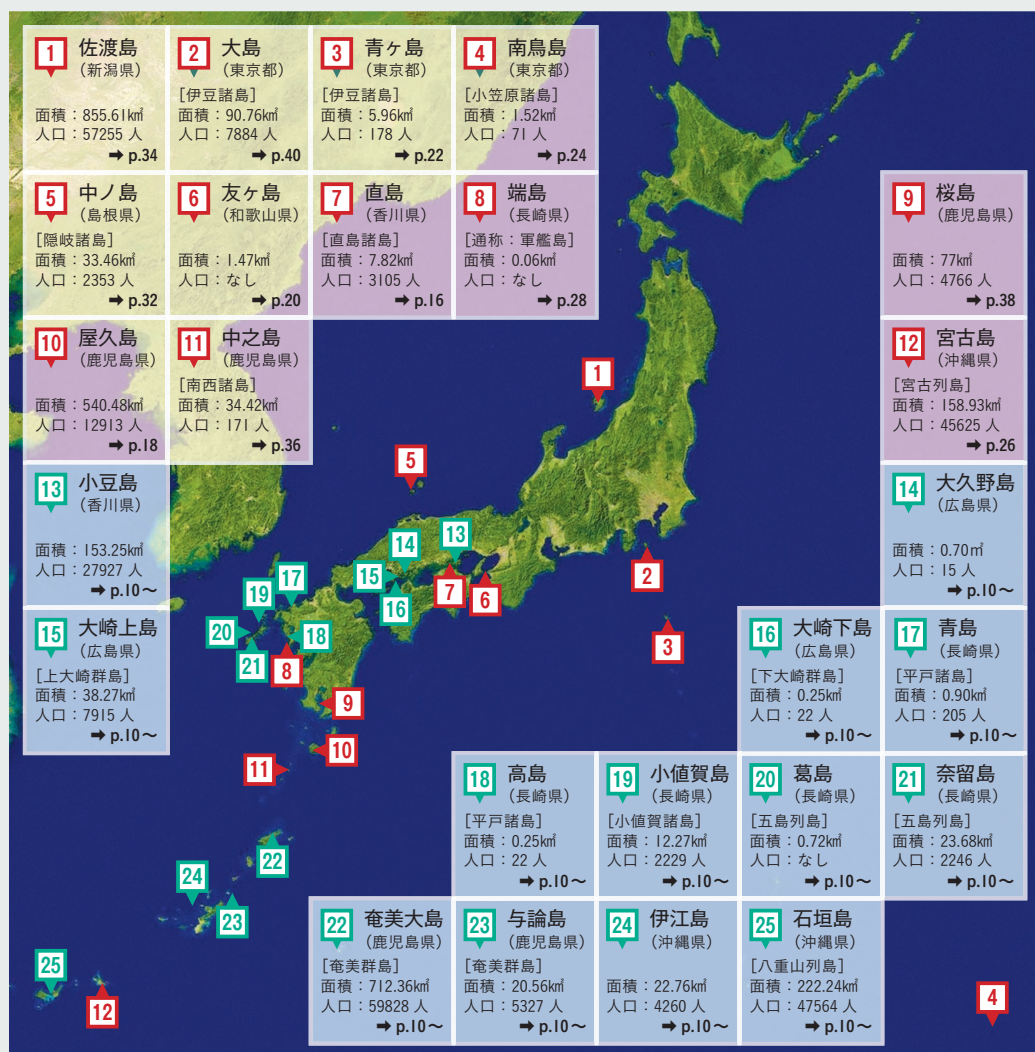


図1 本特集で取り上げられた島々 (SHIMADAS等を基に作成)